

会議名 平成26年度第1回広報広聴検討会議

開催日 平成27年3月3日(火)	会議時間	開会 AM 10:00 閉会 AM 11:50
会議場所 役場 第2会議室	記録者	企画環境課広聴広聴係 主事 谷井 悦彦
出席者 委員：木原くみこ委員(座長)、安藤拓也委員、水町由理子委員、 沼尻賢治委員、増原政行委員 町：町長、企画環境課長、広報広聴係長、広報広聴係主事		

会議日程

- (1) 広報広聴全般について
- (2) 広報ニセコについて
- (3) もっと知りたいことしの仕事について

会議内容

<p>■町長あいさつ</p> <p>■座長選出 木原くみこ委員</p> <p>■議事(木原座長による進行)</p> <p>【広報広聴全般について】</p> <p>馬淵係長より今年度の広報広聴の状況について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり町民講座の開催数の増加、参加者の開催内容の説明。 ・まちづくりトーク・こんにちは(おばんです)町長室は開催回数や参加人数が増加傾向にあり、どんな内容でも5人以上いれば町長が出向き、町長室の開放も行い、気軽に話しやすい状況を作っている。 ・まちづくり懇談会の市街地区参加者の減少。 ・ホームページからのメールでの問合せについては増えている。外へ出かけて意見を言わなくてもよい方法も増えている。ただ、ホームページ閲覧時間が短くあまり見てもらえていない状況にある。 <p>山本課長より現在の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本条例の2大原則には情報共有と住民参加があり、行政がそういった場を開催して情報共有を図ったり、職員の研修としての意味合いも込めて行っている部分もある。 <p>各委員さんからの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトルだけを見るとテーマがざっくりすぎる。もう少しインパクトのあるタイトルをつけて町民に気にかけてもらえるようにするだけでも参加人数は増えると思う ・(山本課長)確かにわかりにくい部分がある。改善する余地があるので検討する。 ・町民講座の開催には、問題提起のテーマがあってもいいと思う。 ・かなり昔になるが、子育てをしていたお母さんたちで集まって、まちづくりトークを開催したこともある。やはり子育てや給食など関心があることが多いと思う。 ・まちづくり懇談会に参加する人数が少なくなっているとのことだが、逆に町の発

信力や住民の発信力はすごく伸びてきていると思う。SNSなどで発信しているものの中には心のこもったものもある。個人の発信があるから参加が少なくなっていることも考えられるのでは。

- ・以前住んでいたところより、まちの発信力はあると思う。以前住んでいたところでは、情報発信があったのかもしれないが伝わりづらいし、何を伝えたいか結びつかない。
- ・若者はまちづくり懇談会に参加しているのか。
- ・(山本課長) 街中は少ないが地区の懇談会に参加すると結構参加している。
- ・農家だと後継者として戻ってきて親の代わりに参加したり、自分が経営者に代わり参加しているところもある。また、地区によっては月1回の定例会を開催しているので参加しているという人もいる。
- ・夜に仕事をしている人は時間が被ってしまい、参加できないと思う。
- ・町民センターで開催するまちづくり懇談会では、話題提供ということで行ってもいいのではないか。
- ・初めての人は行きにくい。初めての人が行く理由、行きやすい雰囲気作りやお知らせ方法を考えてほしい。
- ・(山本課長) 形式ばって行うものではない。本当に些細なことでもいいので参加してもらえるとうれしい。参加しやすい雰囲気づくりは心がける。
- ・スマートフォンに対応したホームページがあると便利だと思う。
- ・ホームページについて、近隣町村のホームページと見比べたが、検索するとニセコのホームページはその言葉に関係あるものを引っ張ってきて、実際に知りたい情報にたどり着くことができない。検索機能に問題があると思うがもう少し、わかりやすい検索機能に変えることが必要だと思う。
- ・ラジオニセコのバナーがあるといいと思う。町からの情報発信もしている部分もあるのでわかりやすいところに表示してもらえるといい。町外の人をターゲットにするという意味でもいいのでは。
- ・ラジオニセコがネット配信されているが、そのサイトも表示できないか。周りから問い合わせがあったときに説明するが、階層が深すぎて説明しづらい。

【広報ニセコについて】

馬淵係長より広報ニセコの特集について説明

- ・読んでもらう人のターゲットをどこに置くか。タイトルで印象づけることも必要になってくると思う。
- ・お年寄りにとって、現在の文字の大きさと段落数では、読みづらいと思う。誰に何を伝えたいかをはっきりするともう少し紙面も変わってくると思う。
- ・毎月の情報量を少なくしてもいいと思う。詰め込みすぎるのではなく月によって記事の量を変えて伝えてみてはどうか。
- ・現課の伝えたいことがそのまま記事になっている部分がみられるので、もう少し言い換える必要がある。
- ・7月号の基本条例の特集は考えさせられた。あのような特集もいいと思う。また、大人だけが考えるのではなく、子どもときから基本条例を根付かせるためにも、子どもたちにラジオニセコのジングルなどで条文を読んでもらうのもいいと思う。

- ・特集のネタに困っているかもしれないが、人によっては知らないことばかりである。一つのことを掘り下げても特集になると思う。
- ・また、いつも同じような人が会議に参加したり、何かの委員になっている。そうではなくて、表に出てこない人にスポットをあててもいいのでは。ラジオニセコのボランティアパーソナリティはほとんどの人がそういう人だと思う。
- ・特集記事としては、ラジオニセコや地域おこし協力隊、なだれなどの冬山事故などに関する特集もいいと思う。
- ・地域おこし協力隊はただ、紹介するだけでなく、どんな仕事をしているのかなど、その人にスポットをあてて紹介したほうがいい。それでないで、町民の人に伝わりづらいと思う。
- ・弁護士の記事は参考になる。もう少し記事を大きくすることはできなのか。
- ・町民レポーターを募集しているが、検討委員が交代で載せてもいいのでは。

【もっと知りたいことしの仕事について】

馬淵係長よりもっと知りたいことしの仕事について概要説明

- ・27年度には、総合計画の概要版を載せる。
- ・財政でまとめる町の町債について返済能力がどれくらいあるのかという資料を載せる。

【全体を通して】

- ・この場に限らず周りからの意見も含め、何かあれば意見をお寄せください。